

(再評価)

資料 2-3 (1)

確認結果

河川事業

再評価原案準備書説明資料

湧別川直轄河川改修事業

令和3年度
北海道開発局

◇湧別川直轄河川改修事業の総便益

- ⑤便益（洪水被害） 329億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑥便益（残存価値） 0.5億円 --治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 329億円（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

事業全体

- ◆費用便益費（B/C） 329億円/58億円=5.7
- ◆純現在価値（B-C） 329億円-58億円=271億円
- ◆経済的内部収益率（EIRR） 45.6%

※算出条件 整備期間：平成22年度～令和6年度（整備期間+50年間） 評価対象期間：平成22年度～令和61年度（整備期間+50年間）

確認後：103億円

残事業

- ◆費用便益費（B/C） 104億円/25億円=4.2

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和11年度（8年間） 評価対象期間：令和4年度～令和61年度（整備期間+50年間）

確認後：3.8～4.7

確認後：2.6

当面整備

- ◆費用便益費（B/C） 36億円/14億円=2.7

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 評価対象期間：令和4年度～令和57年度（整備期間+50年間）

確認後：4.2～4.2

確認後：3.8～4.6

感度分析

	残事業のB/C	事業全体のB/C
◆事業費 (+10%～-10%)	3.9～4.7	(5.4～5.9)
◆工期 (-10%～+10%)	4.2～4.3	(5.6～5.7)
◆資産 (-10%～+10%)	3.9～4.7	(5.1～6.2)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。